

1/35 M4 コンポジット シャーマン "チャイナクリッパー"

組立てを始める前にお読みください。

READ BEFORE BUILD

この説明書は1/35 M4コンポジットシャーマン"チャイナクリッパー"35-034の組立説明書です。塗装とマーキングは本説明図 10 ページに指示してあります。組立てを始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

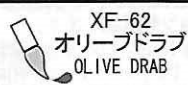
- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.



本説明書記載の塗装色指示は参考色です。お手元の資料などお好みで塗装して下さい。

- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

Mark guide Do not cement and attn moving. Pay attention. Choose type of vehicle.

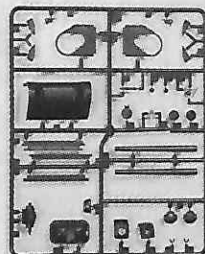


組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

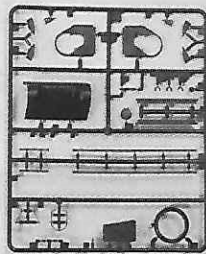
ご注意ください Please note

● 本キットには J 部品 が2種類入っています。J 部品については説明書での部品番号表記を下記の例の様記してあります。部品選択の際は、番号および形状を充分にご確認下さい。Two types J sprues are included. Please check the number and shape, when choosing.

例) Ex. ※J14
The "※" sign. Please find the parts from sprue below. ※印つき部品は下図のランナーから



例) Ex. J28
without "※" sign. ※印なし部品は下図のランナーから



1 キャタピラの組立 Track assembly

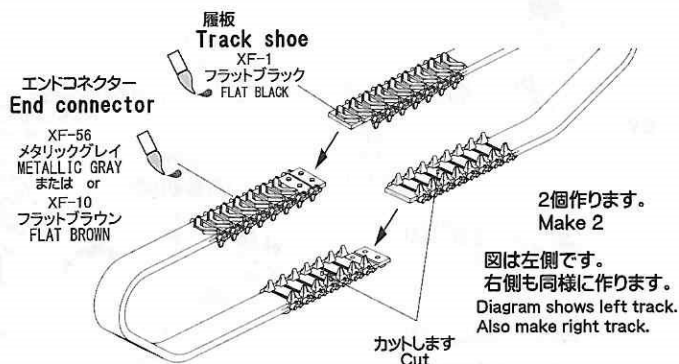
- キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。
- 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。
※下塗りが厚塗りにならないように気を付けてください。

下塗り剤 (例)タミヤ スーパーサーフェイサーガイアノーツ
ガイアマルチプライマーなど

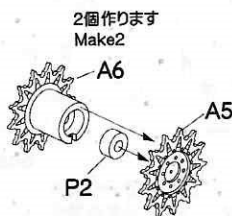
※各種下塗り剤の取扱いは製品の注意書きをよく読んでご使用ください。

- For track assembly and paint
- For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive. ※Using undercoat to keep paints.

Undercoat TAMIYA Surface Primer primer
Galanotes primer series

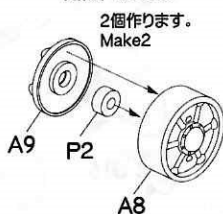


2 ドライブプロケットの組立 Drive sprocket assembly



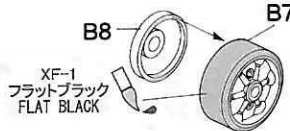
3 アイドラーホイールの組立 Idler wheel assembly

《アイドラーホイール》 Idler wheel



4 ロードホイールの組立 Road wheel assembly

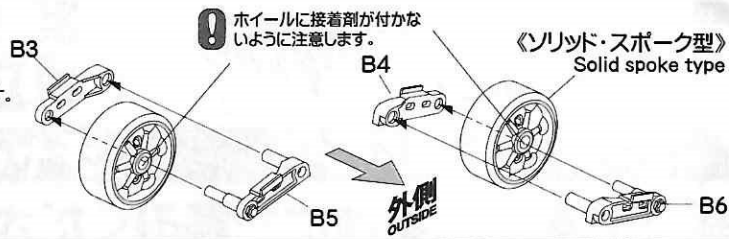
《ソリッド・スポーク型》 Solid spoke type 全部で12個作ります。 Make 12



5 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly

各6個作ります。
Make 6

- ① 次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。
During bogie assembly, please note outside direction



6 ボギーの組立 Suspension assembly

左右各3個作ります。サスペンションアームを組み込むまでは間を開けず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.



② 選択
できます。
または
or



スペーサーA サスペンションの高さを固定したい場合はスペーサーパーツAを選びます。
If you want to fix the height of the suspension, choose the A Spacers

発泡ゴムシート
Rubber sheet

発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。下の図を参考にカットしてください。

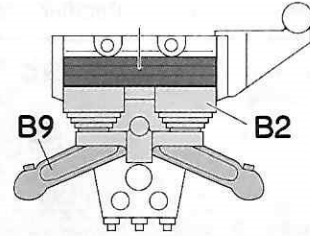
原寸
Cut rubber sheet.
4.5mm X 11mm

カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、情景などで台に固定する場合などは、前後のサスペンションを4枚にするなどしてテンションを調節します。

The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram. Adjust tension to taste

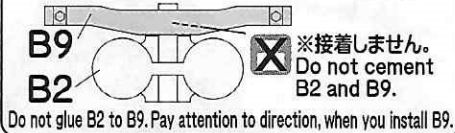
サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、発泡ゴムシートを組み込まず、B2を一番下まで下げた状態(標準位置)で接着し、高さを固定する方法もあります。お客様の使用状況に応じて選択してください。

To fix the suspension, do not install foam rubber sheets and glue B2 into lowest position.

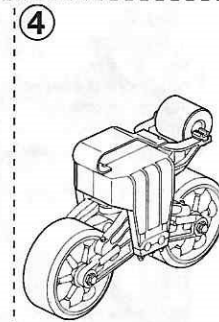
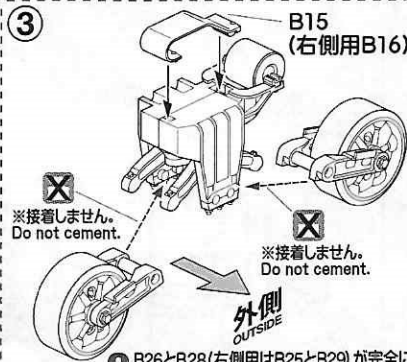
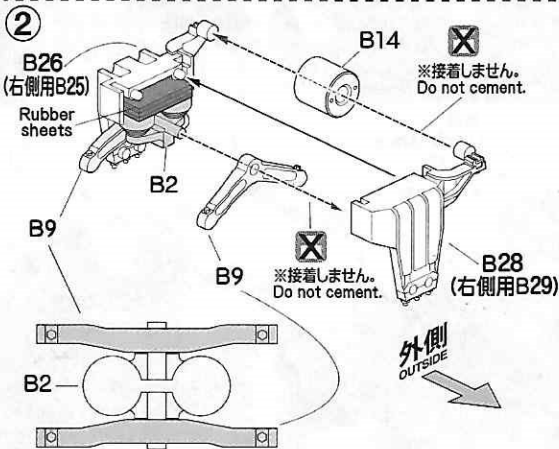


- ① ※向きに注意
Note direction of B9.

B2とB9はスムーズに動くように接着しません。B9は向きに注意して取り付けます。



Do not glue B2 to B9. Pay attention to direction, when you install B9.



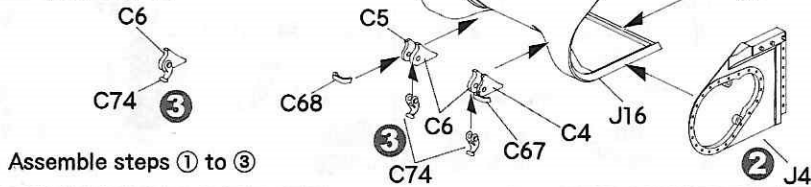
- ③ B26とB28(右側用はB25とB29)が完全に固着する前にサスペンションアームをボギーに押し込みます。アームの車体側と外側の向きに注意します。Push road wheels in before cement sets.

- ④ 接着が乾くまで動かさないようにします。Until glue dries, try not to move.

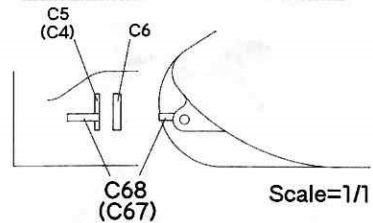
7 テファレンシャルカバーの組立 Differential cover assembly

使用するJパーツについては1ページ目を参照して下さい。
Please refer page1, about J sprue.

①から③の順番で組み立てます。



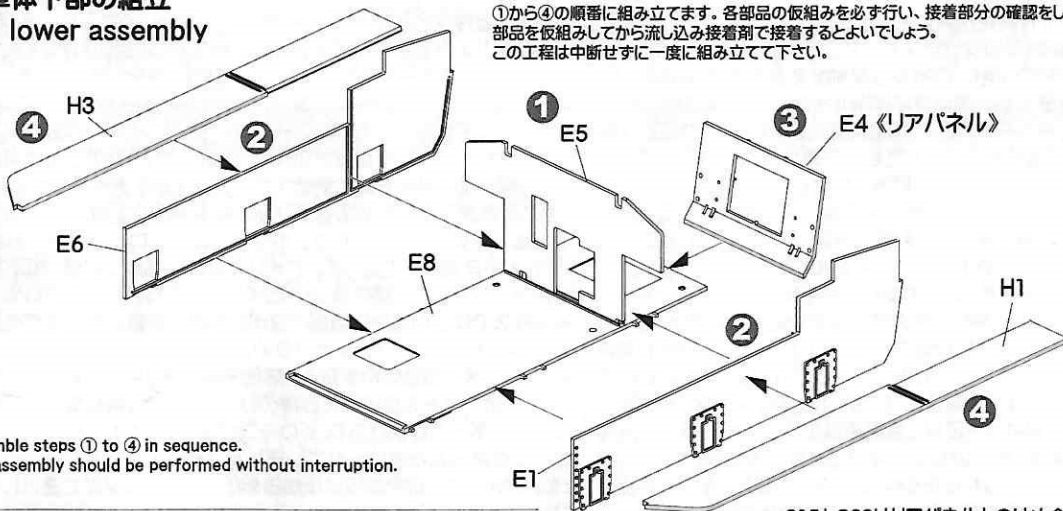
① 細かな部品は、市販のピンセットをご用意ください。



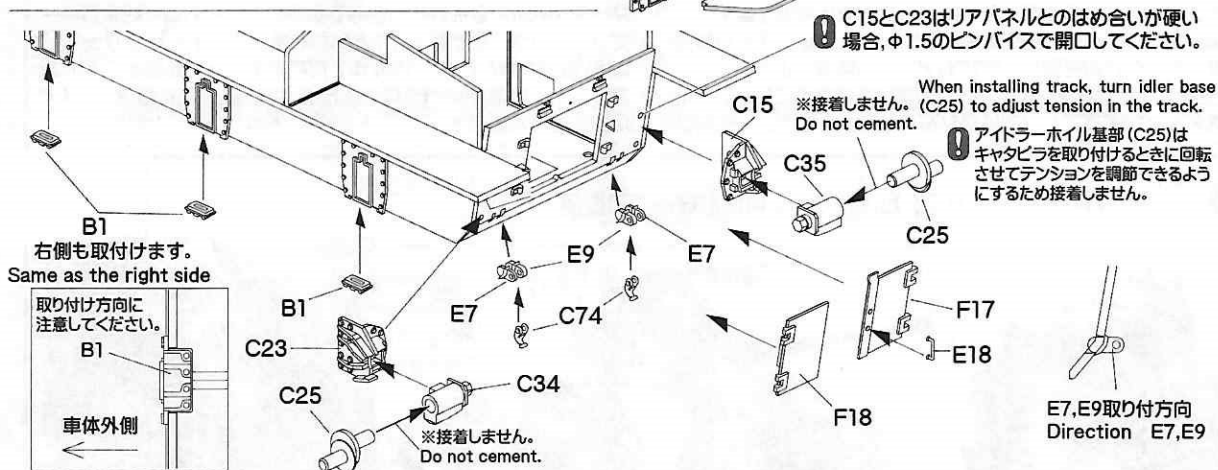
Assemble steps ① to ③

8 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から④の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。この工程は中断せず一度に組み立てて下さい。

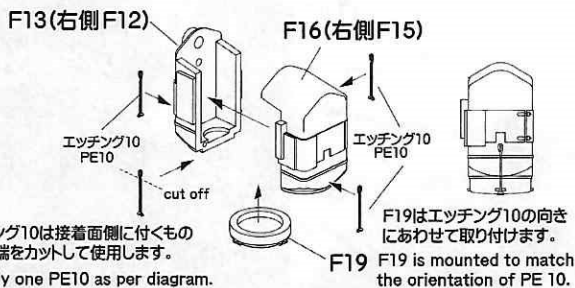


Assemble steps ① to ④ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

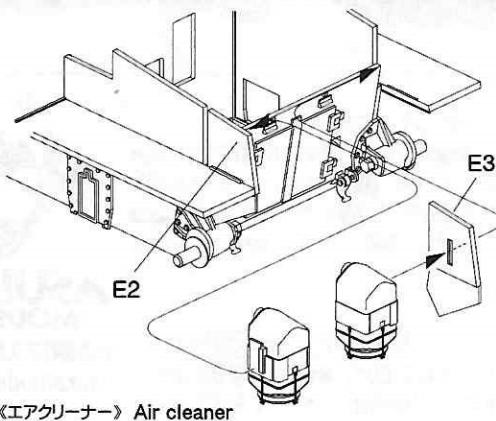


9 エアクリーナーの組立 Air cleaner assembly

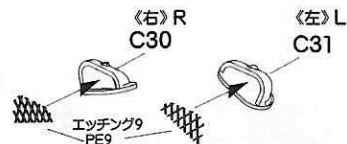
《エアクリーナー》 Air cleaner



10 エアクリーナーの取り付け Air cleaner assembly

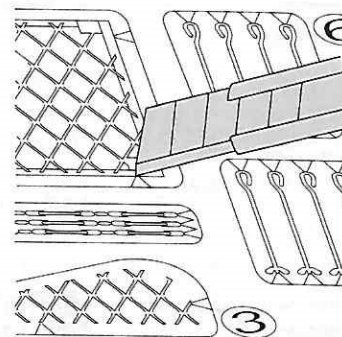


11 グローサーボックスカバーの組立 Grouser box cover assembly



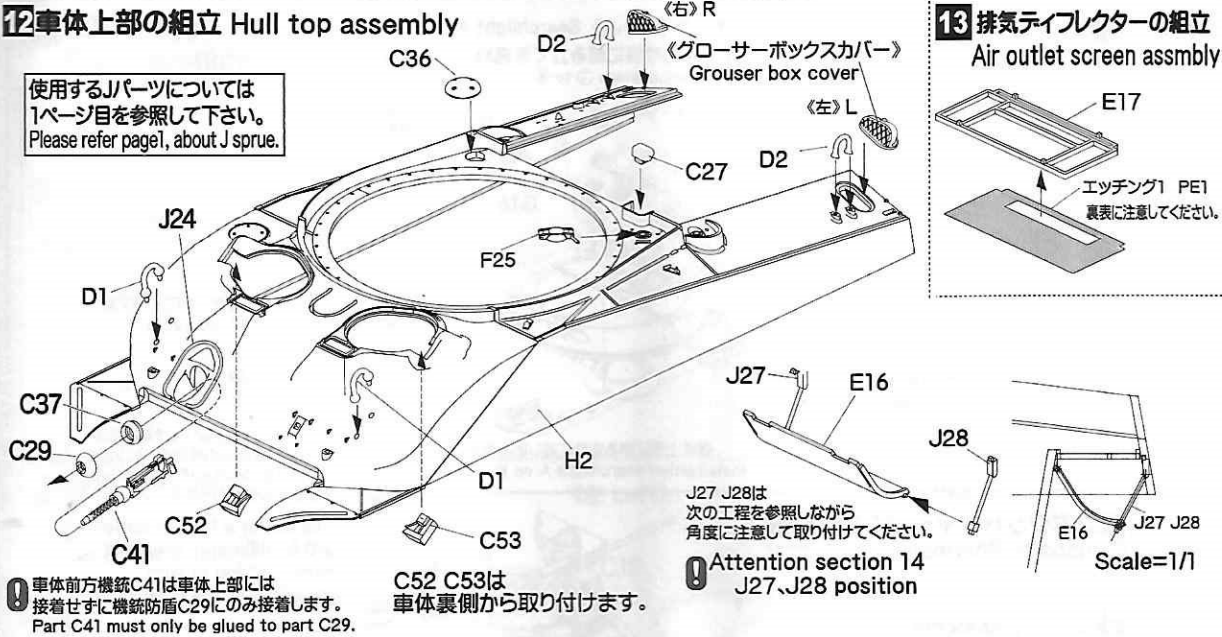
《エッチングパーツについて》

- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブラッシング(緊ぎ目)の部分をやすりなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててすれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。



12 車体上部の組立 Hull top assembly

使用するJパーツについては
1ページ目を参照して下さい。
Please refer page1, about J sprue.



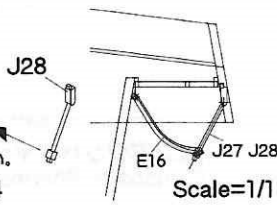
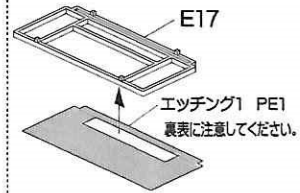
① 車体前方機銃C41は車体上部には
接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。
Part C41 must only be glued to part C29.

C52 C53は
車体裏側から取り付けます。

⑧ Attention section 14
J27、J28 position

J27 J28は
次の工程を参照しながら
角度に注意して取り付けてください。

13 排気ティフレクターの組立 Air outlet screen assbly

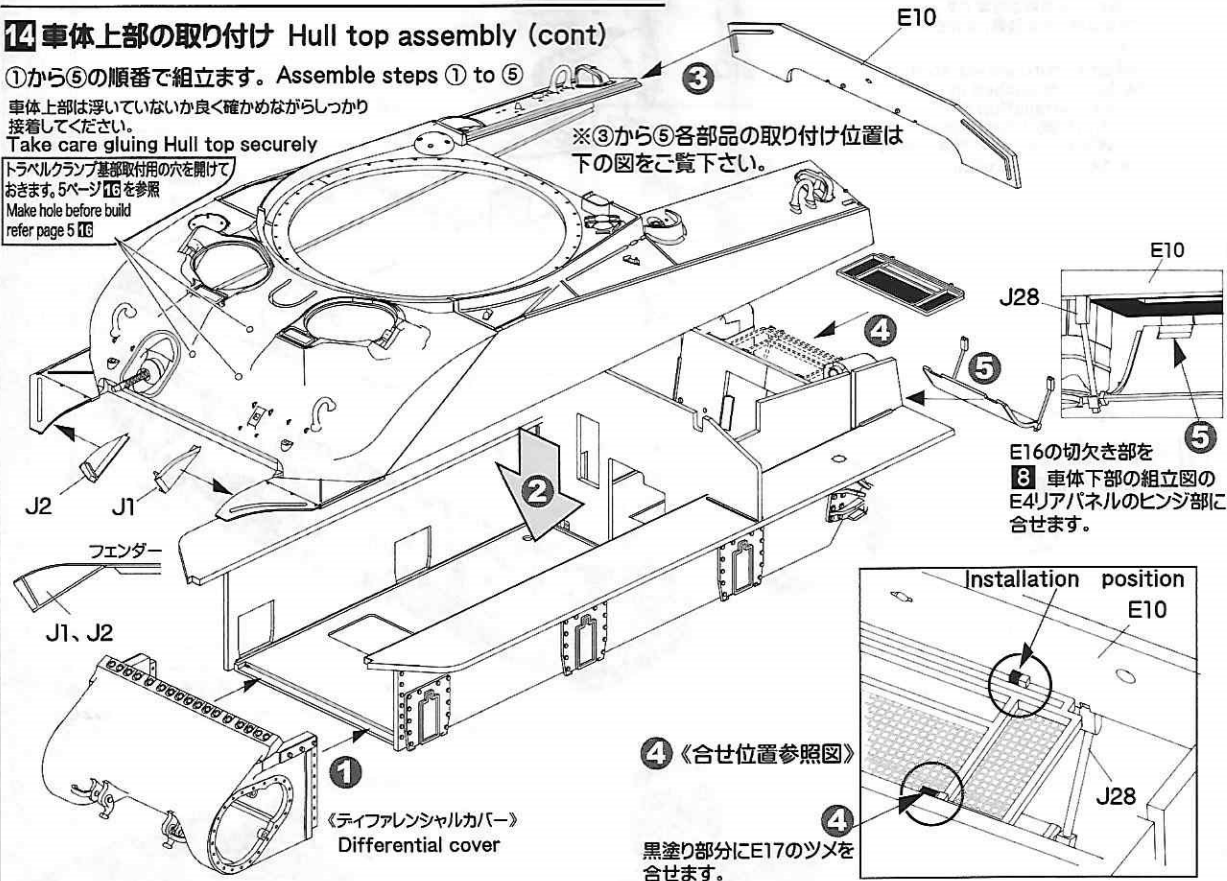


14 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

①から⑤の順番で組立ます。Assemble steps ① to ⑤

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり
接着してください。
Take care gluing Hull top securely

トラベルクラブ基部取付用の穴を開けて
おきます。5ページ11Bを参照
Make hole before build
refer page 5 11B



※③から⑤各部品の取り付け位置は
下の図をご覧ください。

E16の切欠き部を
⑧ 車体下部の組立図の
E4リアパネルのヒンジ部に
合せます。

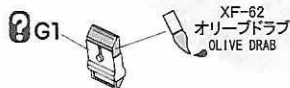
④ 《合せ位置参照図》

黒塗り部分にE17のツメを
合せます。

15 ドライバースハッチの組立 Drivers hatch assembly

Hatch reverse side assembly

ペリスコープ (G1) は透明か色付きの
部品を選びます。
The periscope (G1) is a clear part.
Paint as per the color annex



《右 Right》

《左 Left》

ちょっとひと手間!

φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに
取っ手を付けると、よりリアルに仕上がります。
下の原寸図を参考に工作してください。

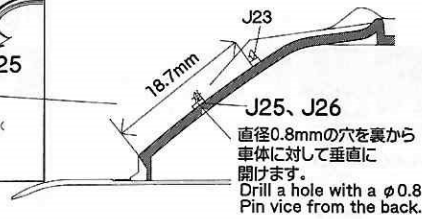
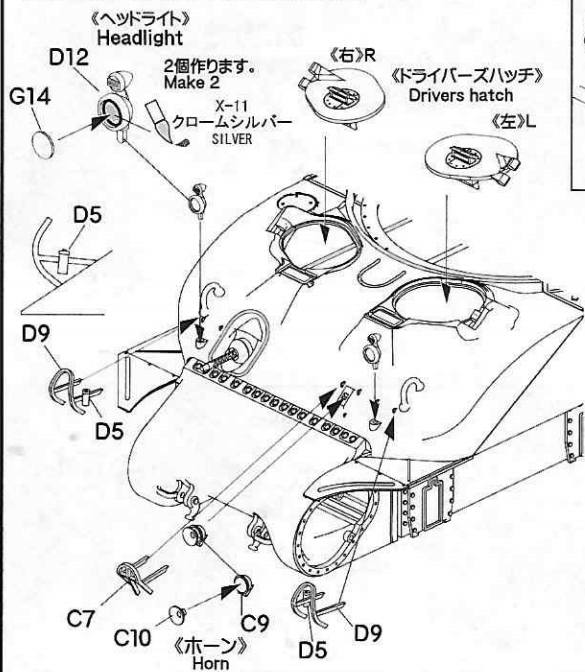
For Detailup
Using φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)

エッチング6を図のように
曲げてペリスコープ基部
の上に取り付けます。
PE6 is bent as per drawing.

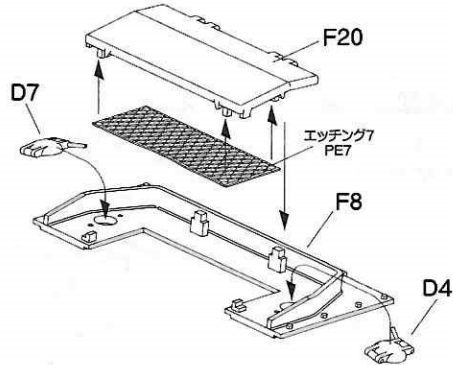
Scale=1/1

16 車体上部部品の取り付け Hull upper part installation

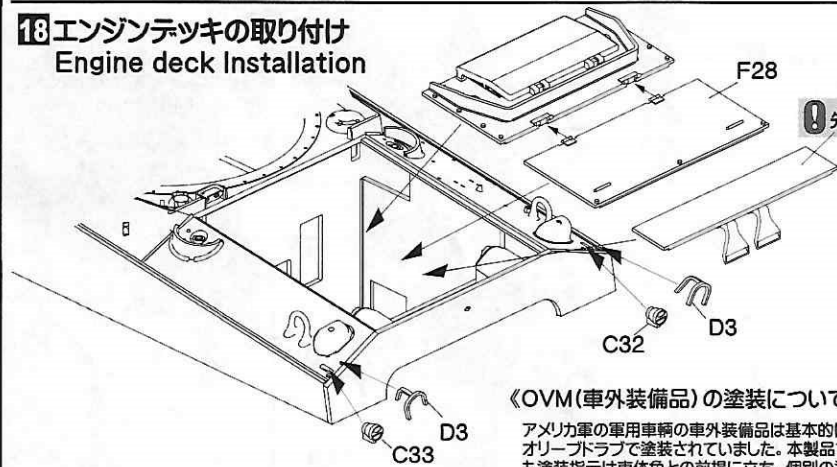
※トラベルクランプ基部 トラベルクランプはL12を使用します
Using L12



17 エンジンデッキの組立 Engine deck assembly



18 エンジンデッキの取り付け Engine deck Installation



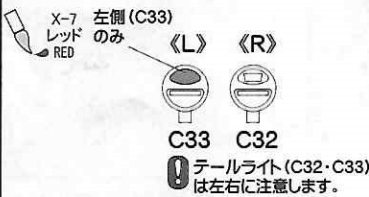
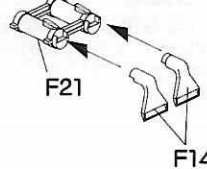
《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色はげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

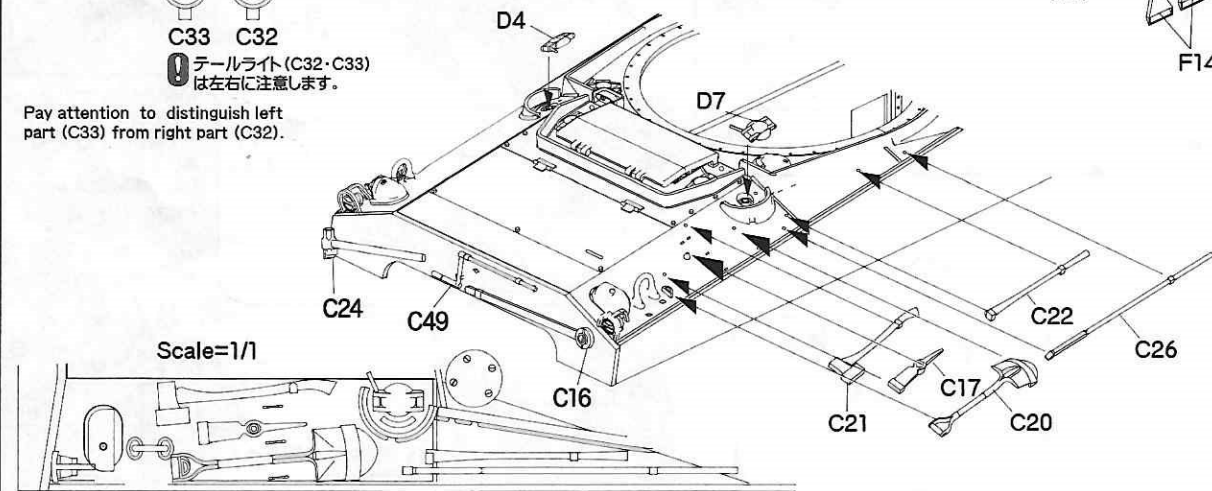
Hull Accessories Painting Guide

American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

《排気管の組み立て》 muffler



Pay attention to distinguish left part (C33) from right part (C32).



19 キャタピラの取り付け VVSS Suspension

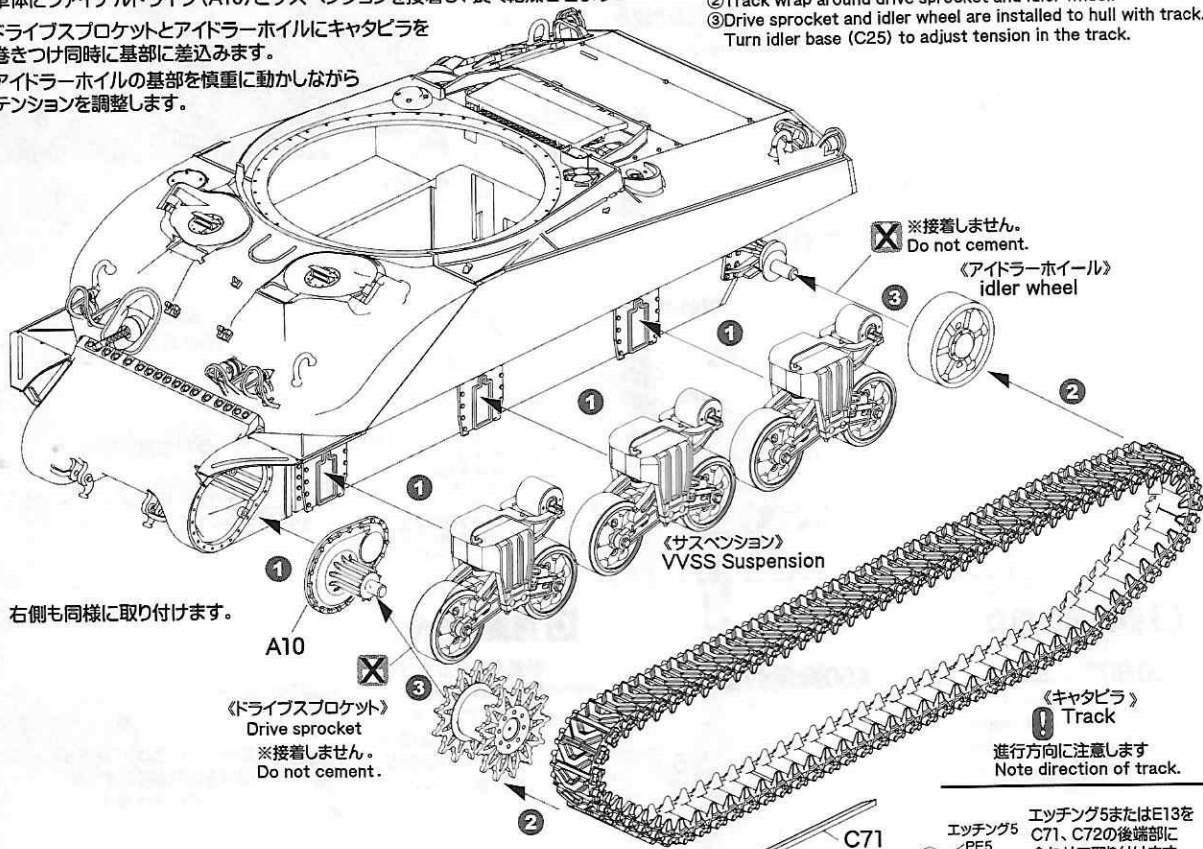
車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。

ドライブスプロケットとアイドラーホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差込みます。

アイドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。

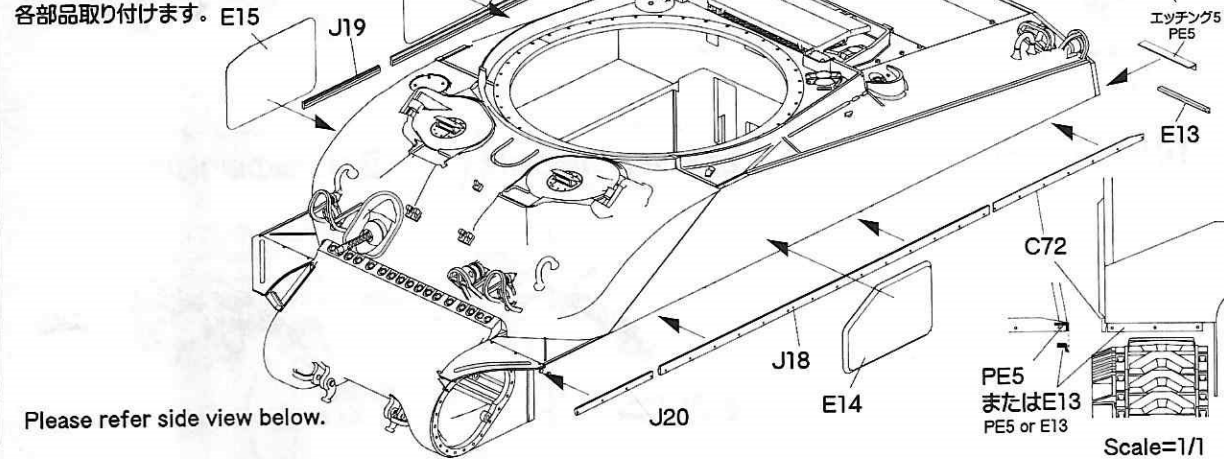
《Assemble steps ① to ③》

- ① Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
- ② Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
- ③ Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track. Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.



20 サンドシールド基部の取り付け Sand shield mounting assembly

下図、車体側面図を参照しながら、各部品取り付けます。E15



《右》R

0.1mm隙間を開けます。

《車体側面原寸図》
Scale=1/1

《左》L

0.1mm隙間を開けます。

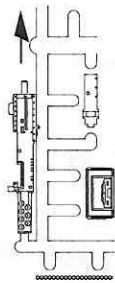
21 M2重機関銃の組立 M2 Machine gun assembly

このページではキューボラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。

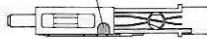


A 機銃本体の組立

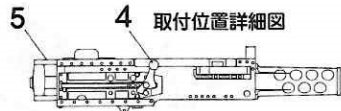
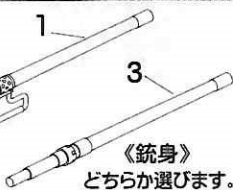
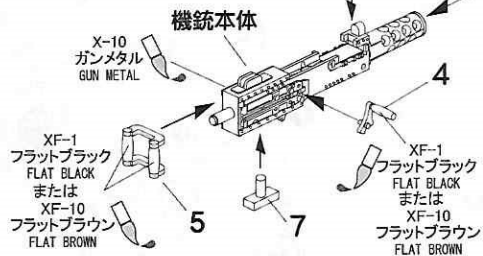
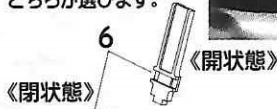
ランナーから機銃本体を引き抜きます。



ゲートの跡を整形します。



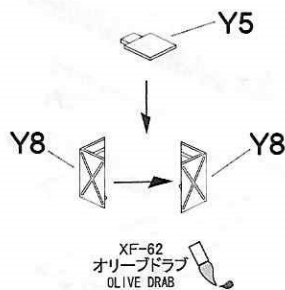
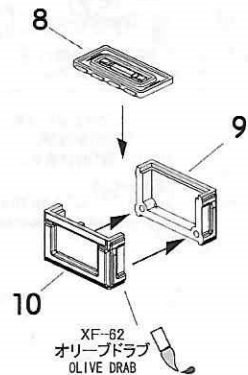
どちらか選びます。



B 弾薬箱の組立

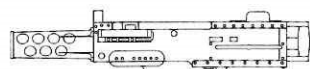
《100発用弾薬箱》

《50発用弾薬箱》

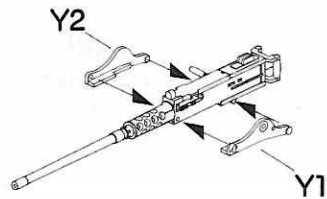


C 揺架の取付

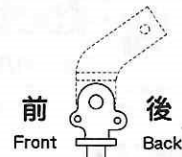
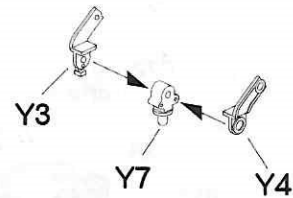
機銃本体を取付けず揺架のみで組み立てることもできます。
この場合は接着部分が非常に小さくなるので注意して下さい。



揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



D ピントルの組立

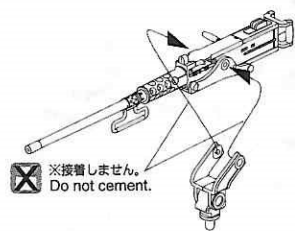


前 Front 後 Back

Y7の向きに注意して下さい。
Pay attention to the direction of Y7

Scale=2/1

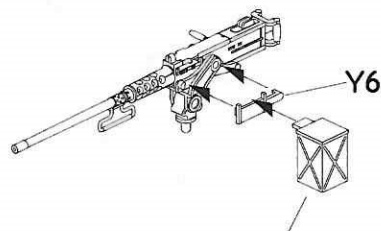
E ピントルの取り付け



※接着しません。
Do not cement.

揺架左右Y1・Y2の凹みにピントルY3・Y4の凸部をはめ込みます。

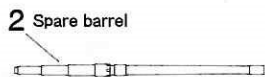
F 弾薬箱の取り付け



《50発用弾薬箱》

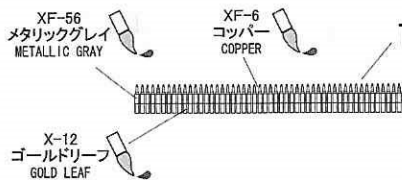
弾薬箱の取り付けは自由です。

《予備銃身》



本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。

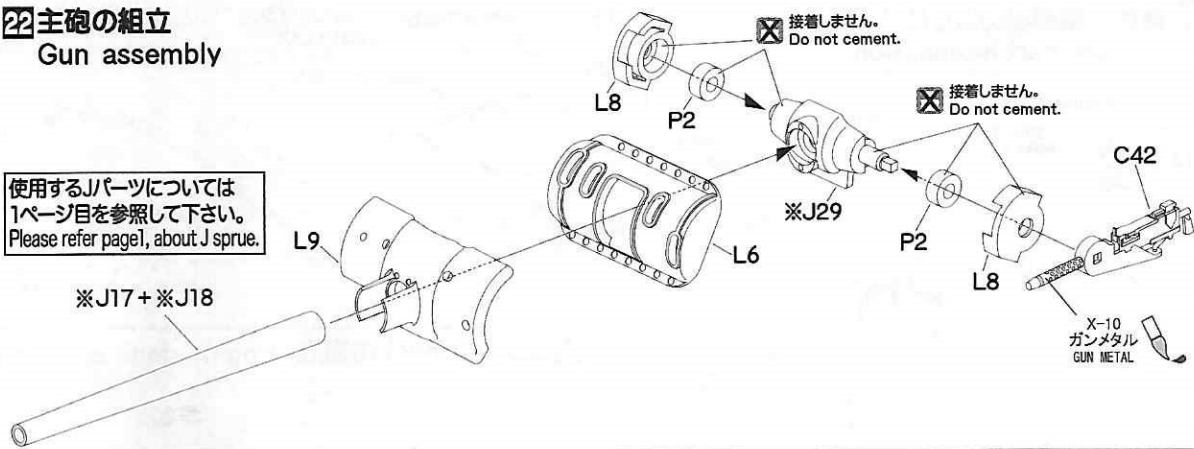
《弾帯》



弾帯はお湯に浸けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。

22 主砲の組立 Gun assembly

使用するパーツについては
1ページ目を参照して下さい。
Please refer page1, about J sprue.



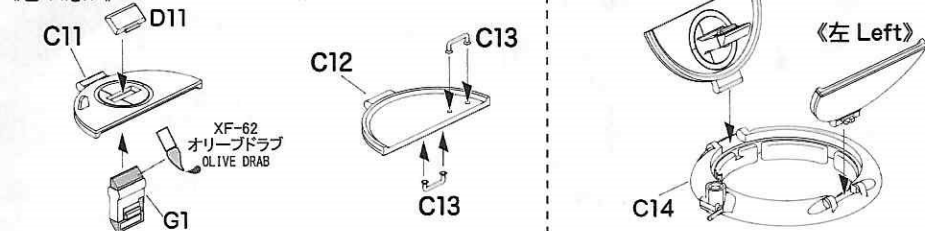
23 砲塔部品の組立 《コマンドースハッチ》 commander's hatch

《右 Right》

《左 Left》

《右 Right》

《左 Left》

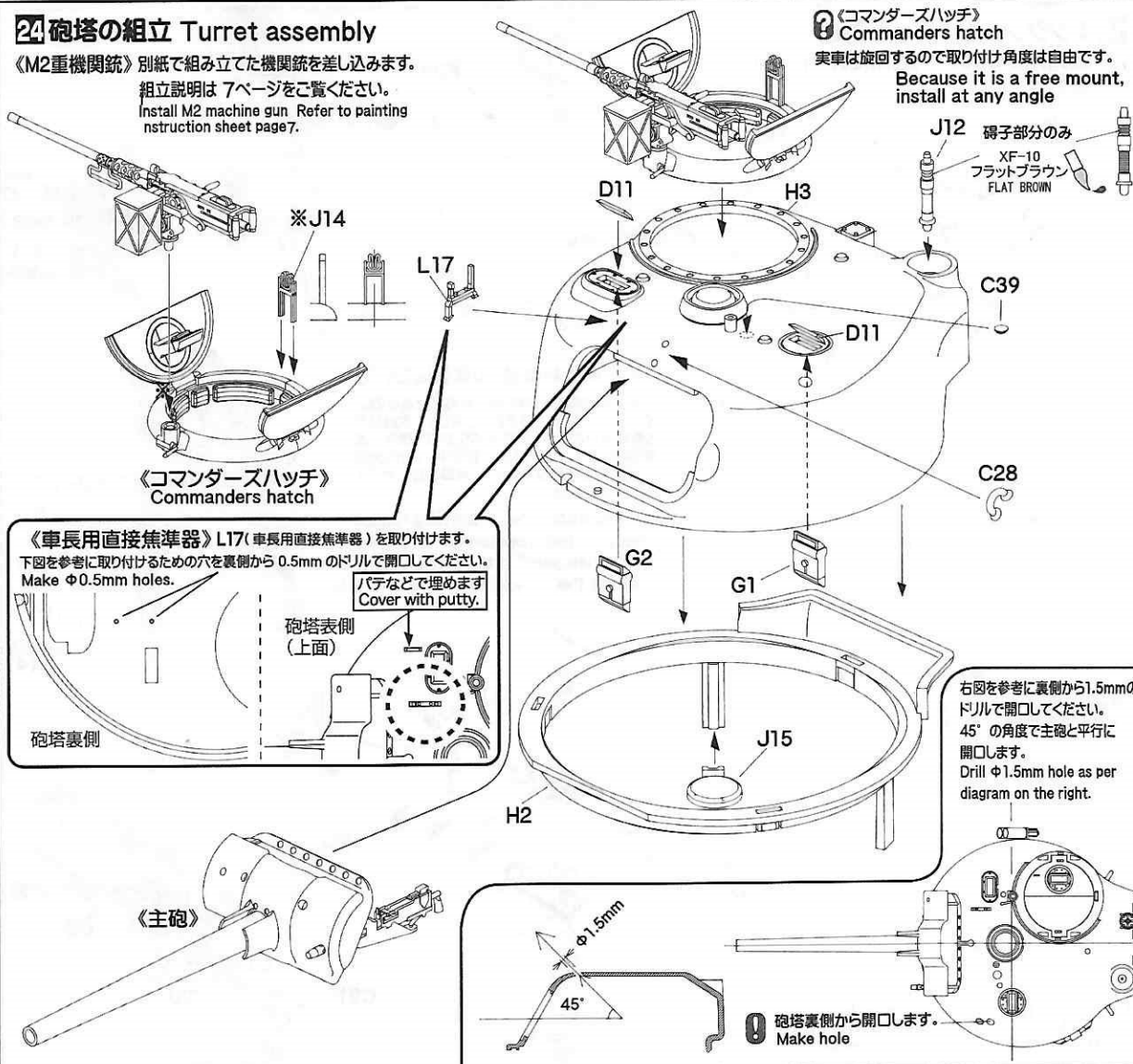


24 砲塔の組立 Turret assembly

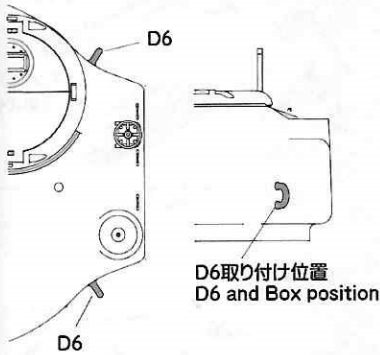
《M2重機関銃》別紙で組み立てた機関銃を差し込みます。
組立説明は7ページをご覧ください。
Install M2 machine gun Refer to painting instruction sheet page7.

《コマンドースハッチ》
Commanders hatch

実車は旋回するので取り付け角度は自由です。
Because it is a free mount,
install at any angle

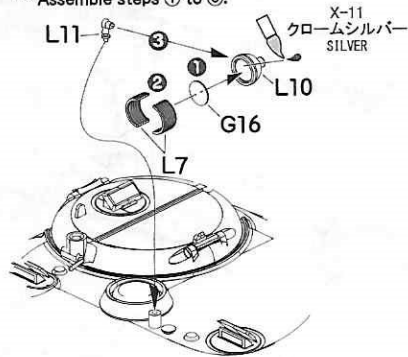


25 砲塔部品の組み立て Turret assembly



《サーチライトA》 Searchlight A

① 1~3の順番に組み立てを進めてください。
Assemble steps ① to ③.



砲塔上面にある支柱に差し込みます。
Install either searchlight A on the turret.

D10

《ワイヤーロープ》 Tow cable

XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

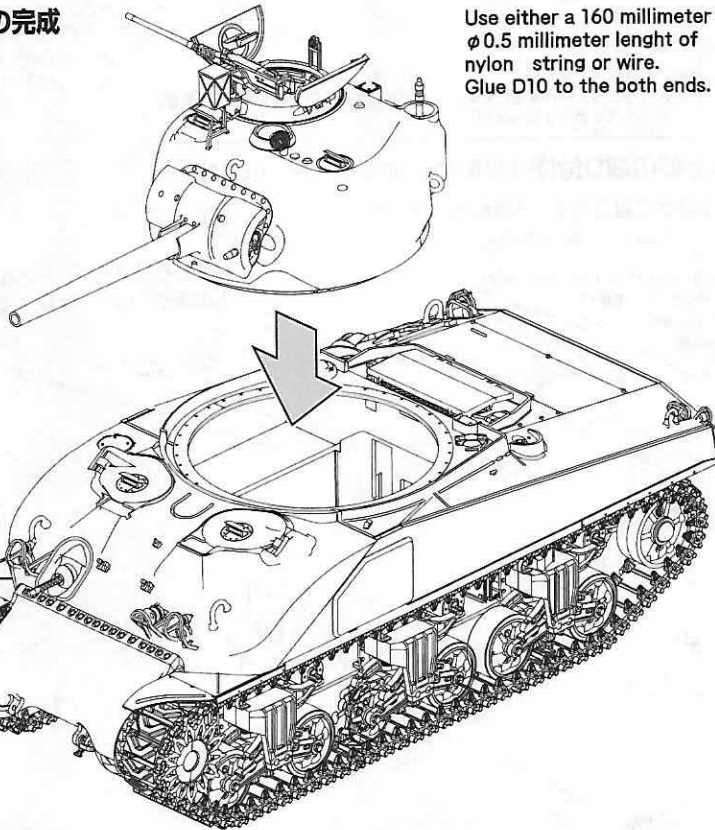
ワイヤーロープを取り付ける場合は、
φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐や
ワイヤーを160ミリの長さで切り出し
両端にD10を接着します。

Use either a 160 millimeter
φ0.5 millimeter length of
nylon string or wire.
Glue D10 to the both ends.

26 M4 コンボジットシャーマン車体の完成 M4 Composite Sherman

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から
持ち上げます。

Push the turret horizontally to the
body. The turret is pushed in until
there is click. Installation and removal
is possible from 360 degrees in every
direction. When removing the turret,
raise from the body carefully.



27 人形の組立 Soldier Figure



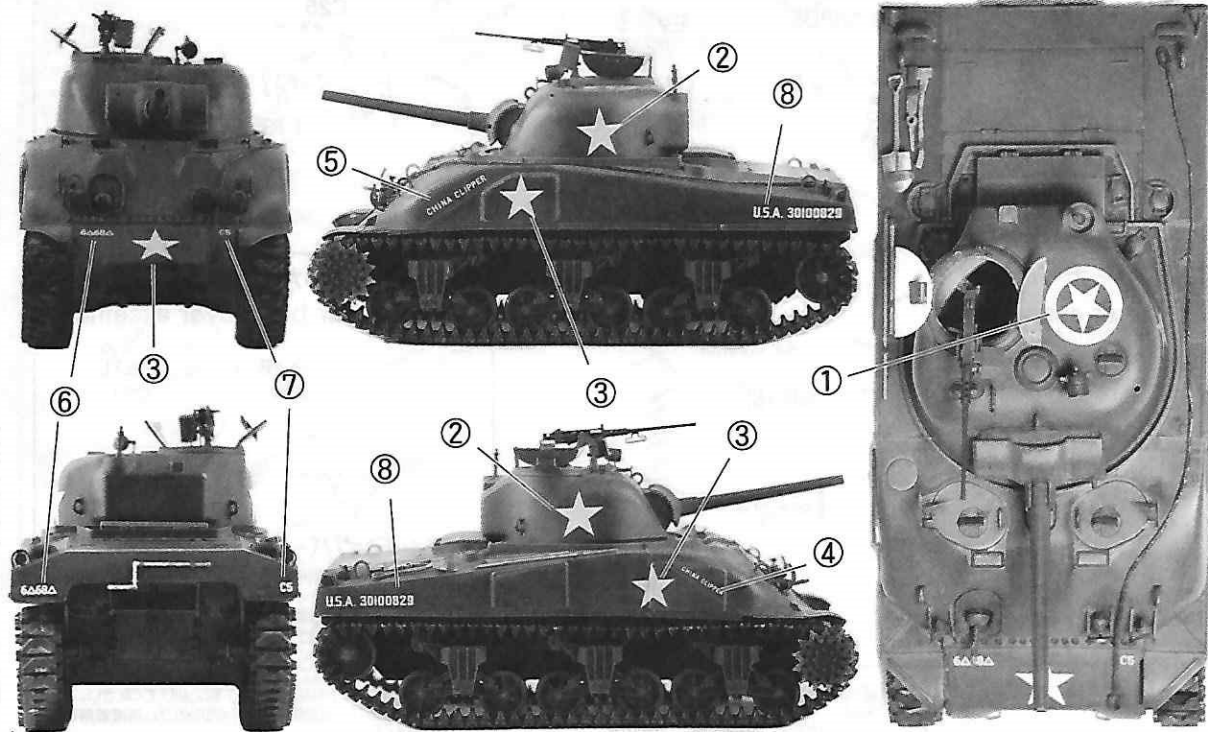
《戦車兵の服装について》
このキットの戦車兵は、HBT（ヘリンボーン・ツイル）
のつなぎの作業服にタンクヘルメットを被った第2次
大戦中のアメリカ戦車兵の標準的スタイルを再現し
ています。腰のピストルベルトにコルト・ガバメントの
ホルスターと弾薬ポーチ、ヘルメットにはゴーグル
を取り付けています。
作業服は明るめのOD色、ピストルベルトと弾薬ポ
ーチはダークイエロー、タンクヘルメットはOD色、ホ
ルスターは茶色でした。
各部の塗装は上図を参照してください。



◆戦車が陸の戦闘の主役となった第二次世界大戦で各タイプを合わせた総数、5万両を超える生産数を記録したのがアメリカのM4シャーマン中戦車のシリーズでした。開発は1940年にスタート。M3中戦車の車体を利用し、75mm砲を装備する旋回砲塔を搭載した試作車両、T6を経て、1941年10月にはM4中戦車として制式化されたのです。そして、翌1942年2月には量産を開始。すでにIII号戦車、IV号戦車を運用して機動力を生かした戦いを繰り返していたドイツ軍に対抗すべく、M4シャーマン中戦車の生産は急を要していました。量産開始とともにアメリカではその工業力を結集して大量生産の体制を整えます。M4シャーマン戦車の生産にはアメリカン・ロコモティブ・カンパニーやボールドウィン・ロコモティブ・ワークス、ブルマン・スタンダード・カー・カンパニーをはじめとするアメリカ重工業の多くの会社が参加。一斉に生産を開始したのです。多くの工場生産されたことや、戦場でのフィードバックから改修も適時行われ、さまざまなタイプが登場することになりました。最初に生産体制に入ったのは溶接車体を持つM4と鋳造車体を持つM4A1の2種で鋳造車体のM4A1が一早く量産車輛をラインオフ。最初の量産型となったのです。そんな中、クライスラーは溶接車体のM4の前面に鋳造パーツを組み合わせた車体を持つM4を開発。多くの溶接工程を持ち生産に時間を要した複雑な形状の車体前部を鋳造パーツに置き換えることで生産性を高めるとともに、生産コストや溶接に必要な材料の節約を図ったのです。アメリカ陸軍によるテストのうち、生産が開始されましたが、アメリカ軍はこの車両に新しい専用の型式名を制定することはありませんでした。そこで、一般的には

M4シャーマン・コンボジット、また、イギリスではM4シャーマンハイブリットと呼ばれるのが一般的でした。M4シャーマン・コンボジット車体は1943年8月から44年1月にかけて約1500両が生産されたのです。クライスラーのほかアメリカン・ロコモティブ・カンパニーでも生産。それぞれの車体にはスプロケットホイールやアプリケーションアーマーの形状などに違いがみられました。エンジンはM4、M4A1と同じライトR-975-C1星型空冷9気筒。主砲には37.5口径75mm戦車砲M3を装備。足回りは垂直に渦巻スプリングをレイアウトしたVVSS(垂直渦巻スプリングサスペンション)を採用していました。◆完成したM4シャーマン・コンボジットはヨーロッパ戦線のみならず、太平洋戦線にも送られ、アメリカ軍の各部隊に配備。加えて、一部はレンドリース法に基づいて、イギリスにも供与されています。イギリスではこの車体に自国の17ポンド砲を装備する砲塔を搭載してM4シャーマンIファイアフライハイブリットとして配備したのです。アメリカ軍第6機甲師団第68戦車大隊C中隊もM4シャーマン・コンボジットを受領した部隊のひとつでした。各車両には車体にニックネームが付けられ、その一つには「チャイナ・クリッパー」のニックネームが付けられていました。「チャイナ・クリッパー」はパン・アメリカン航空が1934年から45年にかけて太平洋で運行したマーチンM130大型飛行艇の名称です。C中隊を表す「C」で始まるネーミングということで選ばれたといわれます。「チャイナ・クリッパー」は68戦車大隊とともに1944年2月にイギリスに到着後、7月にはフランスに展開。1945年8月にはドイツに進撃。12月に帰還するまで活躍を続けたのです。

■デカール例 ①の2ヶ目、③の4ヶ目はお好みでご使用下さい。



《不要部品》Not used.

A	部品 1~4, 7, 11, 12
B	部品 10~13, 17, 18~24, 27
C	部品 3, 8, 18, 19, 38, 40, 43~48, 50, 51 54~61, 63~66, 69, 70, 73, 75, 76
D	部品 8, 13
E	部品 12
F	部品 1~7, 9~11, 22~24, 26, 27
G	部品 4~13, 15
J	部品 3, 6~11, 13, 21 ※Jは14, 17, 18のみ使用
L	部品 1~5, 12~16, 18~23
ポリキャップ(poly cap)	1
エッチング(photo etched parts)	3, 4, 8
スペーサー(spacer)	B, C

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手数のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / 電話 / FAX での受付
E-mail info@asukamodel.com 〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 **FAX** 054-203-2103 有限会社アスカモデル 部品請求係

お手紙での受付 / 部品代金の送付先
ASUKA MODEL
 有限会社アスカモデル
 asukamodel.com



レジンパーツ... 布・木など素材の表情に欠かせないしわ・木目。レジンパーツの特徴の一つ、薄くて細い繊維表現が本物らしさを演出。そして搭載した戦車に世界観がひろがります。

プラスチックモデルのスチロール樹脂とは異なる主に無発泡ウレタン樹脂などで作られるのがレジンパーツです。樹脂の特性がスチロールとは異なり、接着にはプラスチックモデル用の接着剤ではなく、瞬間接着剤を使用します。また、塗装の食いつきが悪いいため、塗装前にしっかりと洗浄して離型剤などの油分を落とし、サーフェイサーを使った下地処理を行って塗装します。プラスチックパーツとは違った形状再現が魅力のレジンパーツをうまく使って、モデルの仕上がりをお楽しみください。



レジンパーツの接着には瞬間接着剤かエポキシ接着剤をお使い下さい。
プラモデル用接着剤では接着できませんのでご注意ください。

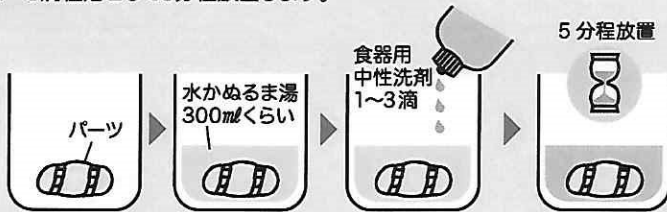
塗装する前に、あらかじめ「パーツの洗浄」と「サーフェイサーを使った下地処理」をして下さい。

(パーツには「離型剤」というものが微量ながらに塗布されています。そのまま塗装すると塗料がのらない場合があります。)

① 洗浄

食器用中性洗剤で洗います。

300mlくらいの水かぬるま湯に食器用中性洗剤を1~3滴程落として5分程放置します。



② 乾燥

洗剤に浸してあったパーツを取り出し、流水でさっと洗剤を洗い流します。キッチンペーパーなどで水をふきとります。ペーパーの上で放置して乾燥させるのもよいでしょう。

※ふきとりに普通のティッシュペーパーを使うとパーツ面に繊維の「ホコリ」がついてしまうので注意して下さい。

③ 塗装下地処理

塗装下地剤(サーフェイサー)を使って、塗料ののりをより良くします。市販のサーフェイサーをお使いください。

▶ 塗装例



カラー対応表
(参考)

	木箱	テント・バッグ	ベルト
タミヤ水性アクリル	XF57パフ	XF62オリーブドラブ または XF60ダークイエロー	XF64レッドブラウン
クレオス Mr.カラー	C44タン	C38オリーブドラブ(2) または C39ダークイエロー	C41レッドブラウン
クレオスアクリジョン	N27タン	N78オリーブドラブ(2) または N79ダークイエロー	N47レッドブラウン